

移行スケジュール

末永 正*, 山之上 卓**

現システムから新システムへの移行は、次のスケジュールに示すように、新システムの早期導入機器（8月導入の研究用ファイルサーバ、11月導入予定の教育用ファイルサーバ）との併用運転によって、段階的に行われる。詳細な日程については、今後発行のISCニュースで広報されるので注意されたい。

- 平成3年 8月30日 新システム研究用ファイルサーバ搬入設置（戸畑地区）
- 10月12日 IBM4381の運用停止（戸畑地区）
- 10月 中旬 IBM4381本体の撤去（戸畑地区）
- 10月 下旬 戸畑地区の端末をすべて飯塚のIBM3081に接続
- 11月 上旬 新システムの教育用ファイルサーバ搬入設置（戸畑、飯塚）
- 平成4年 2月 中旬 IBM3081の運用停止
- 2月 下旬 IBM3081および全端末の撤去開始
- 2月 下旬 新システム残り機器の搬入
- 3月 下旬 新システムのテスト運用開始
- 4月 上旬 新システム正式運用開始（サービス開始）

上に示すように、戸畑地区のIBM4381（本体系のみ）が10月中旬に撤去される。これは、4カ月程かかる、計算機室から教室への改修工事のためであり、新システムの運用が開始される来年4月までの間、利用者の方々にはご不便をおかけするが、ご了承をお願いする。

飯塚地区のIBM3081が撤去される2月中旬までは、戸畑地区の端末からIBM3081を使用することになる。ただし、教職員・学生（約3500名）全員のユーザIDをこのシステム上に用意することはできないため、センターでは後期授業のある学生（再

* 情報科学センター，10月より近畿大学九州工学部経営工学科

** 情報科学センター yamanoue@isct.kyutech.ac.jp

履修学生は申請が必要)と、申請(申請用紙は事務室にて配布)のあった教職員・学生についてだけ準備する。また、教職員に対しては、IBM3081へのファイル移行が可能であるので、申請の際にその旨申し出られたい。

ホスト切り替えに伴う使用上の違いは、最初のホスト選択(ICMS/ITSO/TCMS)のところ
で、(TCMSの代わりに)ICMSを入力することだけである。しかし、64Kbps
の通信回線で接続されるため、応答性が悪くなることはありうる。パソコン単体でできる
ことはなるべく飯塚ホストを使用しないで済ませるように願います。

ホスト計算機(IBM4381, IBM3081)上のファイルは、別稿の「データ移行方法」に記載さ
れている操作によって、新システムの研究用ファイルサーバまたは教育用ファイルサーバ
に転送することができる。研究用ファイルサーバには研究登録IDのファイルが、教育用
ファイルサーバには基本登録IDのファイルが転送される。

このファイル移行処理は、センターで一括して行うことができないため、ホスト計算機
が撤去される前に、利用者自身で必ず対処されるようお願いする。

ちなみに、研究用ファイルサーバへのファイル転送は、既にその環境が整っており、い
つでも実行可能である。しかし、教育用ファイルサーバへの転送は、必要機器が導入され
る11月上旬まで待たなければならない。

飯塚地区のIBM3081運用は2月中旬までである。サービス終了後、センターでは
各種統計処理を行い、2月下旬より全IBM機器の撤去を開始する。撤去には3~4日か
かり、新システムの残り機器が約1カ月かけて導入・設置・調整される。

新システムは、全体的な調整がほぼ終了する3月下旬に、授業担当教官を対象としたテ
スト運用を開始し、4月上旬に正式運用を行う予定である。